

## 2025年度中国地域U-18審判員強化研修会報告

(一社) 中国サッカー協会審判委員会  
ユース審判員部会長 辻村俊司

日 程 2025年8月4日（月）、5日（火）

場 所 倉敷南高校、水島工業高校、岡山工業高校、倉敷古城池高校、総社南高校  
ホテル倉敷123レンタルスペース（4日夜の研修会）

審判員 鎌田純輝（岡山県）、前田竜之介・坂根央真（広島県）、市村響・西村脩吾（山口県）、  
山本光・生田賢太郎（鳥取県）、山本雄大・小早川稀（島根県）

指導者 古村英治（岡山県）、溝口雄介（広島県）、石川晶一郎（山口県）、若槻直輝（島根県）、  
内田利幸（鳥取県）、辻村俊司（ユース審判員部会長）  
堀格郎（育成部会長）、市川航輔（岡山県学連審判員）

備 考 オンラインによる事前研修会 7月28日（月）20時～  
強化研修会のターゲット「事象をどこで見る？」について

【2025年中国地域U-18審判員強化研修会】活動予定】					
中国協会	ユース審判員部会	辻村俊司	期間	8月4日（月）～5日（火）	7月25日
開催場所	倉敷市		大会	第29回西日本サッカーフェスティバル	
会場/環境	■試合会場 ■宿泊場所 ■研修会場	倉敷南高校、倉敷青陵高校他 「ホテル1-2-3倉敷」倉敷市老松町2-12-15 同ホテル内レンタルスペース			
備品	プロジェクター、パソコン、ビデオ(iPad)、ビデオ三脚				
参加者名	指導者 インストラクター	辻村(ユース審判員部会)、堀(育成部会長)4日のみ 古村(岡山)、溝口(広島)、石川(山口)5日のみ、若槻(島根)、内田(鳥取)			
	審判員	鎌田純輝(岡山)、前田竜之介・坂根央真(広島)、市村響・西村脩吾(山口) 生田賢太郎・山本光(鳥取)、山本雄大・小早川稀(島根) 市川航輔(岡山県学連審判員・アドバイザー)4日のみ			
日程の概要				集合	10:30
時間	8月4日（月）		8月5日（火）		終了予定 16:00
7			7:15	朝食	宿舎
8			8:15	出発・宿舎から移動 試合準備・打ち合わせ	「ホテル1-2-3倉敷」 倉敷市老松町2-12-15 (086) 430-3939
9			9:30 ①	実技研修	会場
10	倉敷南高校	水島工業高校	10:30	振り返り	倉敷南高校
10	集合・開講式、準備、打合せ		10:45 ②	実技研修	水島工業高校
11	実技研修			振り返り	岡山工業高校
11	振り返り				倉敷古城池高校
12					総社南高校
13					食事
14	14:00 ②	実技研修	14:00	実技研修	両日とも昼食は各自で用意
14		振り返り		振り返り	夕食は各自(感染症対策)
15	15:15 ③	実技研修		後片付け・更衣	
15		振り返り		まとめ・閉講式	・「試合の振り返り分析」
16	16:45	ホテルへ移動			
17	17:15	ホテル1-2-3倉敷			費用負担について
18		チェックイン			中国サッカー協会審判委員会
18		夕食(各自)			
19					
20	20:00	研修会			
21	21:00	ユース審判員部会			

**第29回西日本サッカーフェスティバル 審判割り当て(強化研修会関係分) 7/25版**

1日目 倉敷南高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月4日	月	11:15	倉敷南	:	高砂南	鎌田 純輝	市村 韶	生田 賢太郎	堀 格郎
				:					
		14:00	林野		高砂南	市村 韶	市川 航輔	鎌田 純輝	辻村 俊司
		15:15	倉敷南	:	林野	生田 賢太郎	相互	市川 航輔	堀 格郎
水島工業高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月4日	月	11:15	水島工業	:	延岡学園	前田 竜之介	西村 優吾	小早川 稔	古村 英治
				:					
		14:00	総社		高知中村	西村 優吾	相互	前田 竜之介	若槻 直輝
		15:15	水島工業	:	総社	小早川 稔	相互	相互	古村 英治
岡山工業高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月4日	月	11:15	玉島	:	育英	坂根 央真	山本 光	山本 雄大	内田 利幸
				:					
		14:00	玉島	:	玉野	山本 光	相互	坂根 央真	溝口 雄介
		15:15	岡山工業	:	育英	山本 雄大	相互	相互	内田 利幸
2日目 倉敷南高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月5日	火	9:30	倉敷南	:	高知中村	市村 韶	相互	前田 竜之介	若槻 直輝
		10:45	倉敷南	:	玉野	山本 雄大	相互	相互	辻村 俊司
				:					
		14:00	玉野	:	高知中村	前田 竜之介	山本 雄大	市村 韶	若槻 直輝
倉敷古城池高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月5日	火	9:30	倉敷古城池	:	育英	坂根 央真	相互	生田 賢太郎	石川 晶一朗
		10:45	倉敷古城池	:	広島城北	西村 優吾	相互	相互	溝口 雄介
				:					
		14:00	育英	:	広島城北	生田 賢太郎	西村 優吾	坂根 央真	石川 晶一朗
総社南高校									
月日	曜日	時間	対戦カード		主審	副審1	副審2	指導者	
8月5日	火	9:30	総社南	:	林野	鎌田 純輝	相互	小早川 稔	内田 利幸
		10:45	総社南	:	松江東	山本 光	相互	相互	古村 英治
				:					
		14:00	林野	:	松江東	小早川 稔	山本 光	鎌田 純輝	内田 利幸



終わりに

8月4日（月）・5日（火）の2日間、中国地域U-18審判員強化研修会を岡山県内の高校で実施しました。審判員9名、指導者6名、堀育成部会長、市川航輔岡山県学連審判員の総勢17名で第29回西日本サッカーフェスティバルの大会18試合を主審と副審の審判実技研修をおこないました。

強化研修会をおこなうにあたって、7月28日に事前オンライン研修会をおこない、今回の研修会のターゲットである「事象をどこで見る？」を映像と照らして確認しました。初日は、3会場に分かれ主審・副審の実技研修をおこない、試合後は指導者と振り返りで良かった点や課題等のフィードバックがなされました。暑い中ではありましたが、審判員は今回のテーマと自身の課題を意識したレフリングをおこなっていました。

夜の研修会では今回のテーマに沿った事象を3会場からピックアップし、映像を見ながら審判員全員でディスカッションをおこないました。昼の研修会にも参加された岡山県学連審判員の市川さん、堀育成部長も参加され、高校生に貴重なアドバイスをしていただきました。映像を見ると客観的に分析ができ、良かった点や改善点など理解が深まるとともに多くの指導者、審判員の考えを聞くことでいろいろな考え方や視点が広がったと思います。

5日（火）も3会場に分かれての審判実技研修で初日の審判員、指導者と異なる組み合わせにより多くのレフリングを見れるようにしました。審判員それぞれが夜の研修会で出た課題や自身の課題を少しでも克服するよう取り組み、充実した研修会となりました。

今回の研修会を通して、ペナルティエリア近くの事象をどこで見れば自信を持った判定かつ説得力が増すのか、そのためにいつ、どこへ動けば良いかということを意識できたこと、同年代の審判員の頑張りに大いに刺激を受けたこと、審判員同士の交流が図れたことなどが大きな収穫でした。今年も全国高校総体サッカー男子の部では、全国からユース審判員10名が派遣されています（島根県、鳥取県からそれぞれ1名派遣）。9日から鳥取県でおこなわれる国民スポーツ大会中国ブロック大会の副審に割り当てられている審判員もいます。ユース審判員の強化育成がますます重要となっており、各県に帰ってさらなる審判技術のレベルアップを図ることに期待したいと思います。

最後に今回の研修会に審判員・指導者を派遣していただいた各県審判委員会、研修会の場を提供していただいた岡山県西日本高校サッカーフェスティバル実行委員会、会場の先生方のご理解とご協力にお礼申し上げます。

ユース審判員部会長 辻村俊司

## 参加審判員振り返りレポート

岡山県 鎌田純輝

### 1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

FK のマネジメントのところが印象に残っています。壁の距離を測るときに、ボールを見えていなく、死角になった時にボールを動かされていたのでボールを見るというところ。キッカーの前に立ち、プレーを遅らせる選手がいた場合は キッカーに止めていいかを聞く前に前に立つプレイヤーを離れさせてから、プレーを止めるかを聞く。今回の研修で、バックステップが多く争点から離れている事を指摘していただき、無意識にやっていて今まで気がつけていなかった事だったので勉強になりました。

### 2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

十分おこなった。自チームの強化合宿での走り込み、自チーム練習試合での主審、作陽高校さんのフェスティバルの主審など

### 3 自分のレフリングについて

#### ① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

出来ているときと出来ていなくて争点が見えていなく串刺しになっているときがあった。自分の中でよく走れているなと思うときは、横から見えていてその走っている時間を今以上に長くしていくことで今回のテーマの「どこで見るか」を今以上に良い位置を見つけ、そのポジションに常にいけるようにしていきたい。

#### ② ストロングポイントと課題

ストロングポイントはスプリントのところで、前半でも後半でもカウンターなどスプリントが必要なところではトップスピードで走り、後半でも外から走ったほうが良いときは妥協せずにスプリントするところと笛の強弱でファールの度合いを選手に伝えたり、試合を落ち着かせるところが自分のストロングポイントです。課題は、バックステップの量を減らすことです。独学で学んだレフェリングなので逃げ方が下手で、バックステップを使う回数が多いのでサイドステップや首を振り逃げ道や選手の配置を理解して、常に考えながらポジショニングしていく、少しづつでも課題を克服していきたいです。

### 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

高校在学中は、チームの練習試合での主審や県リーグの主審を行います。早めに2級に昇級し、試合経験を積んでいきたいと思っています。JAPAN サッカーカレッジで審判を行うか、亜細亞大学に進学し、関東学連に入り審判をしていきたいと考えています。

広島県 前田竜之介

### 1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

これまでの審判活動で疑問に思ってたことやどうやつたらいいポジションで事象を見れるか困ってたことを今回の研修でたくさんの指導者の方からアドバイスをもらうことができて自分の疑問に思っていたことを解決する事ができたり、課題を見つけることができたこと。

### 2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

十分に行うことができた。まだ部活を引退していないので部活の中で結構走ったり、部活以外の時間にも率先して走ることができた。

### 3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

レフリングをしている中で常にどこで見るのがいいかというのを意識しながらポジショニングを取ることができた。二日目になると体力的にもきつくなったりして少し反応が遅れて遠い距離感で事象を見るような場面が増えてしまっていたがそれでも少しでも自分の見やすい位置に少しでも移動することができた。

② ストロングポイントと課題

自分のストロングポイントはスプリントの速さだと思います。課題はスプリントが速いからといって少しタイミングが遅れて反応してしまうことやボールを追い越して余裕のないポジションでレフリングしてしまうこと、ボールから逃げるタイミングが遅かったり方向が悪かったりするところ。

### 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

大学に進学し大学生になっても学連で審判活動を行って更に上のカテゴリーで審判活動をすること

## 広島県 坂根央真

### 1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

とにかく周りとの意識の違いを感じた。他のユース審判員は、競技規則を完璧に覚えているし、いろんな場所で審判の経験をしていた。しかし、自分は研修会の2週間前に焦って主審の練習をするなど対策が甘かった。いざ主審をしてみると、シグナルがまっすぐではなかったり、15mの距離を守れていなかったり、壁の距離が近かったりとだめなことが多かった。今日学んだことは、2日目はゲームマネジメントのことを学んだ。例えば、ファールの基準だったり、シグナルを指先まで伸ばすことや、競技者に対してのアプローチなど様々な意見を聞いた。また、生田くんにもアップの仕方、打ち合わせ、副審とのアイコンタクトの取り方など教えてもらった。

### 2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

おこなったが十分とはいえないかった。2週間前からトレーニングマッチで競技者として出でていないときは、主審の練習をした。しかし、経験の差を感じた。

### 3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

意識はしたけれど串刺しのポジションになったり、15mの距離を守れなかったりとできないシーンがたくさんあった。初日に内田先生に褒めてもらった膨らんで動く動きを意識して実践できたらもっと良くなると感じた。

② ストロングポイントと課題

ストロングポイントは体力面だと思う。だけど、予測が甘かったり、これぐらいでいいやと思ってしまって活かすことがあまりで来ていなかった。課題は競技規則を全然知らないこと。競技規則を知らないと競技者に説得力ある説明ができないし、ファールの基準も曖昧になる。今まででは、感覚でやっていたことを理論的に話せるようになる。

#### 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

2級を目指す。しかし、今のままでは到底届く場所じゃない。今まで以上に積極的に主審をしてたくさんの経験を積み、現状ユース審判員で一番下手だけど来年はみんなより上手くなつて質問する側から質問される側の人間になりたい。

#### 山口県 市村 韶

##### 1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

印象に残ったことは審判員のポジショニングの基本は対角線式審判法だと改めて理解出来たことです。説得力のあるポジショニングを行うために横からの監視が出来て副審と挟んで監視出来る対角線式審判法はとても重要だと思いました。基礎を頭の中に入れつつ、他のポジショニングの選択肢も増やせるように常に自分の動きの考えを持ちながら試合に臨みたいと思います。勉強になったことは審判員の色を出すために必要な事を質問した際に自分のストロングポイントを見つめ直すことが出来ました。自分の人間性をストロングポイントにそのまま出来るという言葉を頂いて、今後の審判活動で試行錯誤して次に繋げたいと思いました。

##### 2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

十分とはいえたかった。web研修で学んだ暑熱対策で学校終わりにランニングをしたり、夜にフィジカルトレーニングに参加し、インターバル走をしてきました。ですが当日に熱中症になり、まだ自己管理が出来ておらず悔しい思いをしました。

##### 3 自分のレフリングについて

###### ① 今回の研修テーマをグラウンドでどれくらい実践できましたか？

グラウンドにいる時間はあまりありませんでしたが、研修テーマの「どこで見るか」を意識するため、説得力のあるポジショニングと考えを持ったポジショニングを行うという課題を持って研修に臨みました。山口県でもこの課題を意識してレフリングを行いたいと思います。

###### ② ストロングポイントと課題

私のストロングポイントは選手に対しての丁寧なコミュニケーションです。ピッチ内での気遣いを大切にしています。これから自分の立ち振る舞いを全体に伝えれるようなレフエリングが出来るようになりたいと思います。課題はフィジカルとマネジメント力です。フィジカルではポジショニングの選択肢に幅が出せるようにしたいと考えたからです。90分間は最大限のポジショニングが出来るフィジカルをつけたいと思います。マネジメント力は試合をコントロールする上でとても重要なことで自分のストロングポイントを活かして試合を良い方向に変える審判員になりたいと思います。

#### 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

学生のうちに2級取得をしたいです。山口県で4種から1種まで幅広く試合を担当できるようになりたいです。進路は高校入学時から考えていた神奈川の企業に希望を出しています。

山口県 西村脩吾

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

自分はファウルの基準が自分でなかなか見つからなかっただけれど今回の研修会で感覚をつかむことができました。また研修会のテーマであるどこで見るかについては次の場面を予測して素早く事象を掴みにいき距離、角度を意識して動くことができました。また同じユースレフェリーとともに切磋琢磨することができたし意見の交換もできたのでよかったです。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

おこなったが十分とはいえないかった。今回の研修会に向けて体力づくりは十分に行うことができましたが、試合を吹くことができていなかったのでそこは不十分でした。

3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

研修テーマについては意識して見やすいポジションに立つことができました。まずは争点の予測を行いどこにボールが行きそうかを把握することができました。また縦パスや裏へのロングボールができたときにはスピードを上げ、事象をより近くでよい角度で見られるようなポジションを取ることができました。しかしすべての事象に対してそのようなポジショニングをとれているわけではないのでどんな事象に対してもよいポジショニングをとれるようにしたいです。

② ストロングポイントと課題

自分では気づいていませんがインストラクターの方には審判員としての佇まいが良いと言われることが多いのでそこがストロングポイントなのではないかと思います。課題についてはスピードも速くはなく、体力もとてもあるわけではないので長所を作ることができたらいいなと思います。特に、中盤でのポジショニングに苦手意識を持っているので、正しいポジショニングを掴むことができるよう試行錯誤したり教えてもらったりしながら課題を克服したいと思います。

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

今年は全少に行くことが1つの目標なのでそこに向けて日々トレーニングしていきたいと思います。また1つでもレベルの高い試合を経験して成長していきたいです。

鳥取県 山本 光

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

普段の立ち位置に対して、なぜここに立っているのか、何が見たいのかをよく考えることができた。自分の立ち位置では見られないものが多いように感じることもあった。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

おこなったが十分とはいえないかった 割当を入れてもらっていたが、高校レベルの公式戦がなく、中学レベルや、高校生の練習試合のレフェリングしかできずに臨むことになってしまった。

### 3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

何が見たいかを常に考えながら、動き出す事が出来たが、予測がまだまだだと感じる部分があった。

② ストロングポイントと課題

予測通りになった時の動き出しの速さはよかったです。予測通りにいかなかつたときの対応が課題。

### 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

現時点では、広島大学教育学部に進学し、学連に所属し、レフェリーを続けていく予定ではあるが、阪大、九大、京大等を目指すことも視野にはある。いずれにしても、審判としてサッカーに関わることは続けようと思う。すぐには叶わないと思うが、1級を取得したいと考えている。

鳥取県 生田賢太郎

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

今回の研修で印象に残っていることは、コミュニケーションを取ることの大切さです。この1年を通して自分自身で様々な場面を経験させていただきその都度コミュニケーションの大切さを感じていましたが、今回の研修で参加者が消極的なのが印象的でした。自分自身の昨年振り返ってみると消極的だったと思います。しかし、1年間の経験を通して自分自身で何かを学ぼうとか、力をつけよう、技術を身につけようという積極的な姿勢を持たなければ成長しないことに気づきました。今回の研修も僕自身は積極的にコミュニケーションを取り、1つでも多く学んで帰ろうという気持ちで臨みました。その結果、インストラクターの先生方からサッカー以外の話を聞くことができたり、レフリングについての見識を伺うことができ学び多い研修になったと思っています。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

十分おこなった。インターハイに向けて日々、ランニングやレフリングの動きを取り入れたトレーニングを行っていたため、研修前のトレーニングにもなった。

### 3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

今回は、争点に近づくことを意識しながら行った。そのため、PA内に無駄に入る場面があるということを指摘され、新たな課題が見つかった。争点を意識しながら、どのような角度からジャッジを行うのかを冷静に判断する力が欠けていると思うので、今後はこの意識も大切にしたいと思った。

② ストロングポイントと課題

スプリントと1試合を走りきる体力がストロングポイントなので、そこは発揮できたのではないかと思う。しかし、スピードの緩急や、位置取りなどを工夫することでもっとスマートなレフリングができるようになると感じた。

### 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

まずは、競技規則をしっかりと学習し、2級昇級を今年度中にします。進路については、

近隣の4年生大学に進学し入学後も地域でレフェリングの技術を磨いていきたいと考えている。

### 島根県 山本雄大

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

自分はルールに関してまだまだ知らないことがたくさんあって、そのうちのいくつかを今回の研修会を通して知ることができました。具体的には、フリーキックの壁がペナの境目と被ったときの対応です。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

十分おこなえた。具体的にはしっかりストレッチをしたり、審判をする際によく使う、サイドステップやバックステップといった動きを重点的に行いました。

3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

意識的に回り込もうとしたりして副審と挟んで見たり、いい角度から見るための動作を意識してできた。

② ストロングポイントと課題

ストロングはスプリントで課題はまだまだ経験不足なこと。

4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

とにかく経験を積んで自分のレフェリングを確立していく。

### 島根県 小早川 稔

1 今回の研修で、印象に残ったこと・勉強になったことは何ですか。

私が今回の研修で勉強になったことは、「どこで見るか（最適なポジショニングで重要な事象を監視すること）」は「レベルに関係なく選手のプレーの可能性を最大限予測してポジショニングを取ること」だと知ることができたことです。研修に参加する前にも予測をしてポジショニングを取ることはありましたが、選手がどんなレベルであろうと同じだけの可能性を予測しておくことが大切という考えはありませんでした。レベルの高い試合では簡単なミスなど起きないだろうという甘い予測がこの先の審判活動で重大な失敗を起こしてしまうかもしれないを考えると、自分の甘いところを再度確認することができてよかったです。

2 今回の研修参加にあたり事前のトレーニングはどうでしたか？

十分おこなった。インターハイでの副審の実践的トレーニング、大学リーグの試合（主審）大社高校主催大会を利用した主審の実践的トレーニング。

3 自分のレフリングについて

① 今回の研修テーマをグランドでどれくらい実践できましたか？

研修に参加する前段階からどのようにすれば見ている人に自分が何を見に行っているのかが伝わるか考え、スプリントの加速のタイミング、回り込む、直線的に走るなどの使い分けをトレーニングで実践し準備してきました。その準備もあり

INSの方々からは良い評価をいただけたことが多かったためこれからも継続していきたいと思いました。2日目では判定基準に対する見直しの意見もいただき、自分の特徴を出せるようなレフェリングに繋げるため現状に満足することなく追求していきたいと思います。

## ② ストロングポイントと課題

【ストロングポイント】・緩急をつけた争点への距離の縮め方・選手とのコミュニケーション・マネジメント

【課題】・タッチジャッジの正確性・笛の吹き方、音、強弱・争点から目を切るタイミング

## 4 今後の目標と活動について（進路等も含め）

私は島根大学教育学部学校教育I類へ進学をしたいと考えています。そして審判活動を継続して行い、いずれかは、もう一度インターハイの舞台へ次は主審として戻りたいと思っています。

目標は1級審判員となることですが、その過程で多くの審判員の方々、INSの方々と出会い自身の人間性の向上やコミュニティーを広げていきたいと思います。もう一度、全日本U-12サッカー選手権大会に参加させていただけた際には、中国地域を代表して決勝の舞台で笛を吹いて帰ってきたいと思います。